



平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月10日

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 9632 URL http://subaru-kougyou.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 憲治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 佐波 宏夫 (TEL) 03-3213-2861
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績 (平成24年2月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	13,012	0.2	714	△11.6	782	△4.9	342	42.4
24年1月期第3四半期	12,985	△1.7	808	128.8	823	132.0	240	69.0

(注) 包括利益 25年1月期第3四半期 346百万円(18.4%) 24年1月期第3四半期 292百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年1月期第3四半期	円 銭 13.08	円 銭 —
24年1月期第3四半期	9.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年1月期第3四半期	百万円 18,611	百万円 15,783	% 83.3
24年1月期	18,665	15,634	82.2

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 15,495百万円 24年1月期 15,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年1月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
25年1月期	—	3.75	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想 (平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	△0.6	760	△15.7	790	△13.2	340	30.8	13.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期3Q	26,620,000株	24年1月期	26,620,000株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	457,906株	24年1月期	455,377株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期3Q	26,163,318株	24年1月期3Q	26,170,683株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興事業が内需を支えましたが、引き続き欧州の債務危機に起因する世界経済の減速や、円高の長期化などを背景として、景気は足踏み状態となり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は130億1千2百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は7億1千4百万円（前年同期比11.6%減）、経常利益は7億8千2百万円（前年同期比4.9%減）、四半期純利益は3億4千2百万円（前年同期は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したため、前年同期比42.4%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

道路事業：道路事業は、引き続き公共事業費が抑制傾向にあるため、工事発注件数の減少等に伴う企業間競争はさらに激化し、依然として厳しい状況での事業展開となりました。このような中、各地区にわたり、道路の維持・清掃および補修工事において増工や追加工事等の確保に努め、また単発工事の受注に向けた積極的な営業活動を行いました。当事業の売上高は106億9千5百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は7億5千1百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

レジャー事業：有楽町スバル座における映画興行は、「この空の花 長岡花火物語」「鍵泥棒のメソッド」などの邦画作品が好評を博し、売上高は前年同期を上回りました。

飲食事業は、消費支出の低下、デフレによる低価格志向等により、店舗間の競争は激化しており、引き続き厳しい事業環境となっておりますが、前期1月にリニューアルオープンいたしました「ドトールコーヒーショップ新青山ビル店」が好調を維持し、またその他店舗についても、食の安全性の確保、新商品の導入等接客サービスの向上に努めました結果、売上高は前年同期を上回りました。なお、期中10月、東京都千代田区に「ドトールコーヒーショップ 大手町フィナンシャルシティ店」をオープンいたしました。

飲食物品の販売事業は、消費者マインドの回復が停滞している状況下ではありますが、炭酸飲料等の既存の取扱商品販売数の底上げに注力いたしました結果、売上高は前年同期を上回りました。

マリナ事業は、マリナレジャーの普及に向け、ヨットレースや初心者向け体験型クルーズを実施し、新規契約者獲得に向けた積極的な営業活動に努めましたところ、売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は18億7千5百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は3千3百万円（前年同期はセグメント損失1千2百万円）となりました。

不動産事業：オフィスの空室率は若干低下いたしました。高止まりし、賃料水準も下落傾向が続いております。そのような状況下、吉祥寺スバルビルにおいて一部空室があり、その他保有物件および駐車場の運営等はおおむね順調に推移いたしました。当事業の売上高は4億4千1百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は2億7千8百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は受取手形及び売掛金の増加等がありましたが、有価証券の減少、土地の減少等により前連結会計年度末に比べ5千3百万円減の186億1千1百万円となりました。

負債は、賞与引当金の増加がありましたが、未払法人税等の減少、役員退職慰労引当金の減少等により前連結会計年度末に比べ2億2百万円減の28億2千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ1億4千8百万円増の157億8千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年9月7日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,168,324	4,081,254
受取手形及び売掛金	3,004,978	3,098,326
有価証券	855,213	748,662
商品	62,490	59,829
未成工事支出金	159,518	275,171
原材料及び貯蔵品	72,563	92,261
繰延税金資産	51,958	96,171
短期貸付金	725,000	775,610
その他	148,453	136,914
貸倒引当金	△76,040	△94,389
流動資産合計	9,172,459	9,269,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,437,890	2,364,733
機械装置及び運搬具(純額)	439,859	385,624
土地	4,105,344	4,026,040
建設仮勘定	—	1,659
その他	150,196	150,602
有形固定資産合計	7,133,291	6,928,659
無形固定資産		
のれん	4,523	1,979
その他	36,996	34,866
無形固定資産合計	41,520	36,846
投資その他の資産		
投資有価証券	808,353	870,998
繰延税金資産	72,254	66,603
差入保証金	826,197	839,809
保険積立金	449,008	449,290
その他	213,006	181,853
貸倒引当金	△50,284	△31,938
投資その他の資産合計	2,318,535	2,376,616
固定資産合計	9,493,347	9,342,122
資産合計	18,665,807	18,611,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,123,922	1,076,472
未払法人税等	256,005	206,314
賞与引当金	60,325	166,911
役員賞与引当金	3,960	—
資産除去債務	—	8,904
その他	669,758	569,663
流動負債合計	2,113,971	2,028,265
固定負債		
繰延税金負債	—	213
退職給付引当金	211,032	198,419
役員退職慰労引当金	42,520	—
P C B 処理引当金	4,528	4,528
資産除去債務	180,783	182,593
その他	478,253	414,634
固定負債合計	917,118	800,389
負債合計	3,031,090	2,828,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,057,028	1,057,028
利益剰余金	13,178,668	13,324,756
自己株式	△151,460	△152,112
株主資本合計	15,415,237	15,560,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62,859	△64,735
その他の包括利益累計額合計	△62,859	△64,735
少数株主持分	282,338	287,341
純資産合計	15,634,717	15,783,278
負債純資産合計	18,665,807	18,611,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	12,985,790	13,012,055
営業費用	11,269,145	11,408,860
売上総利益	1,716,644	1,603,194
一般管理費	908,255	888,281
営業利益	808,389	714,913
営業外収益		
受取利息	16,052	15,868
デリバティブ評価益	20,182	41,814
その他	25,180	21,392
営業外収益合計	61,414	79,074
営業外費用		
支払利息	1,257	966
持分法による投資損失	38,958	1,437
会員権評価損	—	4,650
その他	6,161	4,136
営業外費用合計	46,377	11,190
経常利益	823,425	782,797
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,266	—
投資有価証券売却益	—	8,863
保険解約返戻金	45,078	4,941
土地売却益	—	1,108
補助金収入	39,911	—
特別利益合計	99,256	14,913
特別損失		
固定資産除売却損	5,037	—
関係会社株式売却損	88,245	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	176,749	—
減損損失	—	133,443
その他	64,468	5,300
特別損失合計	334,501	138,743
税金等調整前四半期純利益	588,181	658,966
法人税、住民税及び事業税	384,731	348,895
法人税等調整額	△36,937	△38,538
法人税等合計	347,793	310,357
少数株主損益調整前四半期純利益	240,387	348,608
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△36	6,293
四半期純利益	240,423	342,315

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	240,387	348,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,338	343
持分法適用会社に対する持分相当額	54,705	△2,219
その他の包括利益合計	52,366	△1,876
四半期包括利益	292,754	346,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,790	340,439
少数株主に係る四半期包括利益	△36	6,293

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	道路事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	10,744,915	1,792,984	447,889	12,985,790	—	12,985,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	556,710	46,135	603,096	△603,096	—
計	10,745,165	2,349,694	494,025	13,588,886	△603,096	12,985,790
セグメント利益又は損失(△)	897,464	△12,462	286,459	1,171,461	△363,072	808,389

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△363,072千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	道路事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	10,695,356	1,875,018	441,681	13,012,055	—	13,012,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	590,050	49,632	639,682	△639,682	—
計	10,695,356	2,465,068	491,313	13,651,738	△639,682	13,012,055
セグメント利益	751,744	33,269	278,128	1,063,142	△348,229	714,913

(注) 1. セグメント利益の調整額△348,229千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「道路事業」セグメントにおいて、事業用資産の収益性が低下したこと等に伴い、減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において133,443千円です。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。